



飛鳥山公園拡大マップ

渋沢史料館

渋沢史料館は我が国の近代産業・経済界の指導者「渋沢栄一」の活動を広く紹介する博物館として、1982年に開館。かつて栄一が住んでいた旧渋沢邸跡地に建つ。栄一の生涯と事績に関する資料を収蔵・展示している。

旧渋沢庭園

飛鳥山公園の一角は、渋沢栄一が1879年から亡くなる1931年まで、初めは別荘として、後に本邸として過ごした「櫻依村荘(アイソソウ)」とよばれる邸宅跡である。往時は約28,000㎡の敷地に日本館と西洋館からなる本館をはじめ色々な建物が存在しましたが、その多くは1945年の空襲で消失した。現在、国の重要文化財に指定されている大正期の2棟の建築「晩香廬(バンコウロ)」「青淵文庫(セイエンブンコ)」が保存・公開されている。

染井霊園

染井霊園は1872年に明治政府によって播州林田藩建部家屋敷跡地に墓地として開設される。1874年に東京府の管理下に置かれ公共墓地となる。1889年には東京市に移管され、1935年に染井霊園に改称された。面積は約68,000㎡。幕末から明治にかけて活躍した大名や活動家、学者が数多く眠っている。遊歩道の一部は桜並木になっており桜の名所として親しまれている。

北区中央公園

北区中央公園は、明治から昭和にかけては軍用地、また戦後は米軍に接収され王子キャンプとなり、ベトナム戦争時には王子野戦病院として使用された。米軍からの返還を期に、全面積64,000㎡の広大な中央公園が整備された。園内には野球場やテニスコートなどのスポーツ施設やサイクリングコースなどがあり、文化センターは白亜の洋風建築で映画やドラマのロケ地によく使用されている。

王子神社

王子神社は創建は不明だが、中世に熊野信仰の拠点となった由緒ある神社である。「王子大神」は熊野三社の神様の呼称でそれを迎えたことによってこの地は王子という地名となった。徳川時代には「王子権現」の名称で江戸名所の1つとなった。戦後に壮大な権現造りとして社殿を再建、境内を整えて現在の景観となっている。

音無親水公園

音無親水公園は、石神井川の旧流路に整備された公園である。石神井川は、北区付近では「音無川」と呼ばれ古くからの四季の行楽の名所、景勝の地であった。石神井川は昭和30年代から始まった改修工事によって緑の岸辺は厚いコンクリートの下へと消え、典型的な都市河川となったが、飛鳥山公園の下に2本のトンネルを掘り、石神井川流路のショートカットが行われ、残された旧流路に、「かつての溪流を取り戻したい」として音無親水公園ができた。音無親水公園は、「日本の都市公園100選」に選ばれている。



拡大マップ①



拡大マップ②

協賛企業
(50音順)

